



校長室通信

小国町立小国中学校

令和4.5.6(金) No2

文責 狹間卓史



「自らの命を守る」

4月27日(水)、校内において「地震避難訓練」を実施しました。6年前の4月に発生した熊本地震は県内各地に甚大な被害をもたらしましたが、それは本校生徒が小学1～3年生の頃のことであり、その時の記憶はまだまだ色濃く残っているようです。それはご家庭の皆様方も同じでしょうし、本校職員にとっても強い記憶として残っています。

私自身もその当時はこの小国中に教頭として勤務していました。小国ドームが町民の方々の避難所になり、中学校グラウンドが避難された方々の車で一杯になっていた景色を覚えています。私をはじめ複数名の職員が学校に宿泊し、様々な状況に対応出来るような体制を取っていた記憶があります。その際に地域の消防団の方からいただいたおにぎりの差し入れがありがたかったことを覚えています。

災害はいつ何時発生するか分かりません。だからこそ、日々の生活の中で自らの命を守る意識と対応力を高めていくことが必要だと思っています。

本年度の避難訓練の校内担当者は森田光信教諭ですが、小学校担当者の杉本宗郎教諭と共に、6月3日(金)に予定している「大雨時引き渡し訓練」の準備に早速入っています。万が一の状況を想定した訓練にしたいとの思いで計画を進めていますが、各ご家庭の皆様方にお手伝いいただいたの取組になります。その際にはあらためてご協力よろしくお願ひいたします。



【机の下に避難中です】



「備えは『徹底と習慣化』」

4月28日(木)に開催した授業参観、PTA総会、学年懇談会では、ゴールデンウィーク直前のご多用の折にもかかわらずご出席いただきましたことありがとうございました。コロナ禍での開催ということで心配された方もいらっしゃるはずですが、ご家庭の皆様方のご協力があってこそこの学校運営であり、この状況下でお子さん方がどのように学校生活を過ごしているのか、その様子を直に見ていただくことも必要ではないかと考えてのことでした。日々の検温(登校時、給食前、部活動前)や教室の常時換気、手洗い(手指消毒)の徹底と、新しい生活様式の習慣化はこれからも欠かせない取組です。各ご家庭でも日々のお子さんへのお声かけをあらためてお願ひいたします。

本年度は開始早々に学年・学級閉鎖の対応が必要な状況になりました。学年が替わってすぐ(入学式直後のこと)であり、オンライン授業への対応が間に合いませんでしたが、その後、次の「その時」に備えた準備は整いました。

新型コロナウイルス感染症は、いつでも誰もが感染する可能性があります。万が一を避ける努力は学校としても続けていきますが、各ご家庭におかれましては、その万が一の場合には、安心してゆっくり休まれて体調の回復に努められてください。



【PTA役員さん方もオンライン配信に挑戦】



【総会は学年毎の会場での参加でした】